

水川町 吉野梨 特産品紹介



本年産の吉野梨は、4月の開花、結実期（新高では8月頃が満開）以降、晴天日が続いたことと、梅雨期の降雨はやや例年より多かったものの、肥大、品質内容とも良好な果実の生産ができております。中でも今年の気象条件は果実肥大に対して最適であり、販売面でも生産者は期待しております。

JJAやつしろ吉野果実選果場では、早生品種のトンネル栽培「幸水」の出荷が7月17日からスタートし、トンネルの出荷盛期が7月25日頃、露地ものの出荷盛期は8



月5日頃でした。8月お盆以降は「豊水」「あきづき」また9月からはジャンボ梨の「新高」など夏から秋にかけていろいろな品種が全国各地へ出荷されます。

今年で9年目を迎える台湾への出荷も計画されています。台湾では「新高」が「吉野梨」のブランド名で、富裕層を中心に人気があるそうです。100年以上の歴史がある吉野梨、今後の梨産地として、発展を期待します。

表紙のひとこと

夏本番を迎えて、常葉保育所の子どもたちは各組の時間割で、日々大型仮設プレーの中で夢中になって水あそびをしています。子どもたちの元気な姿、笑顔を見ると私たち大人が活力を貰う感じがします。

子どもたちが将来に向かって、健やかに成長していく姿を見守つていかなければと思います。



編集後記

東日本大震災に伴う原発事故の影響で、電力不足のため節電がなされ、例年以上に暑い夏を体感していますが、町民の皆様におかれましてはご健勝にお過ごしのこととお喜び申し上げます。

今回から議会広報委員が交替しました。

新広報委員はパソコンを使えませんので、経費及び成期間も多く要するため、紙面も減少、発行日の遅れとなりました。

私も議会広報委員会としましては、町民の皆様に読んで貰える「議会だより」を目指し作成に努力を重ねて行きたいと思います。町民の皆さん、ご愛読よろしくお願いします。

議会広報調査特別委員会

委員長 永田義昭
副委員長 坂本悦男

委員 三浦賢治
上田俊孝